

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 大山 由紀美
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実		所属課	高齢者支援課	担当者名 三谷三恵
	施策の柱	27	高齢者の介護予防の推進		所属班	包括支援センター班 (内線)	1623
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果 ;
		11	3	7	11650		コスト削減優先度評価結果 ;
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの実現に向けて、包的活かつ継続的な在宅医療の提供や医療・介護の関係者の連携を推進するための事業である。平成28年度から菊池郡市医師会に一部業務委託し(この事業については医師会との連携が不可欠である)、共同で研修会等の企画・運営、事例検討などを行っている。また、医療・介護サービスは市だけで完結せず、近隣市町村との連携が重要であるため、菊池市・合志市・大津町・菊陽町で足並みを揃えるべく、医師会には4市町合同で委託を行い、5者間で協議を行っている。また、4市町合同で住民啓発向けパンフレットやスムーズな入退院調整を行うための事業所向けガイドブック作成を行っている。合志市独自では、年に1回、合志市在宅医療・介護連携推進会議を開催し、現場職員の現状や課題抽出のための場としている。
【業務の流れ】	菊池市・合志市・大津町・菊陽町・郡市医師会との協議を行いながら、事業を進めていく。専門職向けの研修会の企画・運営・評価、圏域の課題抽出の場の設定、定期的な意見交換、住民向け啓発講演会などを実施する。最終的な委託事業のモニタリング、評価を行う。
【主な予算費目】	報償費、旅費、役務費、委託料
【意見や要望】	医療機関によって退院調整に差があり、住民が病院から在宅へ戻る際に、十分なサービスの導入が間に合わない場合がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
医師会と4市町合同で、在宅医療を円滑に進めるための死生観や在宅での看取りに関する研修会、医療介護関係者の共通認識と啓発に関する研修会、多職種協働意識の向上を目的としたグループワークを活用した研修会を年8回開催した。市独自でも、合志市在宅医療・介護連携推進会議を2月に実施し、合志市の在宅医療介護連携における課題の抽出、対応策の検討を行った。入退院時のスムーズな連携を目指し、入退院調整ガイドブック作成に向けたワーキンググループを立ち上げ、会議を3回実施。多職種情報共有ツールを作成している。また、市民の理解や意識向上の啓発のためのパンフレットを制度説明会や地域での健康教育等で配布している。	ア: 研修会・会議等の開催回数	65歳以上の市民および地域の医療・介護従事者	誰もが最期まで住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる。
新規・拡充区分: 30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	イ: 増減なし	ア: 要支援・要介護認定者数(居宅)	ア: 在宅サービス利用者で居宅療養管理指導を利用している人数
医師会と4市町合同で研修会を2回程度開催し、市独自でも在宅医療・介護連携推進会議を継続開催予定。また、地域ケア会議の参加者を医師だけでなく歯科医師・薬剤師・栄養士等の多職種の参加を呼びかけ、医療・介護連携に関する地域課題の抽出を行っていく。入退院調整ガイドブック作成にかかるワーキンググループを継続・完成させ、地域の医療機関・居宅介護支援事業所等に配布し、また使用に向けた研修会を行うことでスムーズな連携を目指す。市民へは引き続きパンフレットを使用し周知・啓発していく。	イ: 増減なし	イ: 人	イ: 人
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
研修会や会議の開催により、地域の医療・介護の連携が強化される体制を整えることで、医療・介護サービスを利用しながら住み慣れた自宅で最期まで安心して生活できることにつながるため、居宅療養管理指導(訪問診療・歯科診療・薬剤師など)を利用し在宅生活を送る認定者数を成果指標とした。目標値は居宅介護支援を受ける人の20%とした。			0

各指標・総事業費の推移	単位	28年度	29年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度		
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回		9	15	12	10	10	10		
	イ									
② 対象指標	ア 人		10	1,400	1,399	1,400	1,400	300		
	イ									
③ 成果指標	ア 人		494	280	202	280	280	280		
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	491	863	709	815	863	863	
		都道府県支出金	千円	245	432	354	408	432	432	
		地方債	千円							
		その他	千円	278	487	399	487	487	487	
		繰入金	千円	245	432	354	408	432	432	
	(A) 事業費計	千円	1,259	2,214	1,816	2,118	2,214	2,214	2,214	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	165	165	165
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	165	0	165	165	165
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間	700	650	410	650	650	0	
(B) 人件費計	千円	0	2,589	1,621	2,589	2,589	2,589	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,259	4,803	3,437	4,707	4,803	4,803	2,214		

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 医師会と4市町共同で研修会等の企画・運営し、研修会を年8回実施した。独自でも、在宅医療・介護連携推進会議を開催し、顔の見える関係を築けた。パンフレットの配布により、在宅でも医療が受けることが可能であることを周知することができた。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 研修会を定期開催すると共に、パンフレットを使用し市民の意識向上のために周知していく。また、入退院調整ガイドブックを完成させ、関係機関に周回・配布することで医療・介護の連携強化を図っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 研修を定期開催することで、医療機関・介護関係者等の連携意識の向上につながっており、また、入退院調整ガイドブックの完成・配布・周知を行うことで今後の連携強化が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がないため、事業の統廃合が難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊池郡市医師会に一部業務委託しており、ほぼ委託料となるため、削減の余地がない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 この事業を実施するために、必要最低限で行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 住み慣れた地域で最期まで安心して生活していくために、全ての市民が対象となる事業のため、適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域包括ケアシステムを実現するためには、医師会や各種団体との連携が必要であり、行政の役割として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

郡市医師会と4市町共同で研修会を定期開催し、多くの関係者が集まり顔の見える関係を築くことができた。また、市民啓発のためのパンフレットを使用し住民啓発をおこなうことで、制度をさせていただききっかけ作りができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>今後も郡市医師会に一部委託し、医療介護の連携強化を図る。合志市内の医療介護連携に係る課題を抽出し、課題解決に向けて取り組んでいく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						